

せい わ

諸毛の風
友と行く
諸毛の里の
つくしとり
わらび よもぎに
むすびのうまかり

静

☆発行所☆
府中静和寮
広島県府中市土生町1636番地の1
TEL.(0847)41-2375
FAX(0847)41-8620
☆発行人☆
寮長 大橋 互

静和寮リフレッシュ工事

天井、壁の塗り替えで
気分もリフレッシュ

本来なら介護
保険スタートま
でに完成と、計
画していたが、
少し遅れながら
も今、全館内改
装が進んでいる。これらは
老朽化と今までの静和寮の
汗と涙が染み付いた色を消
し去るのではなく、新たな
思い入れのイメージカラー
を出そうとしているのであ



正面玄関より撮影～廊下については夜間に工事を行う



←食堂も同じく、天井、壁を塗り替える

↓居室～天井、壁の塗り替えを行う



る。
なにしろ全館の各居室、
廊下、階段等すべてに及ぶ
ため、工事期間は長期に渉
る。当然のことながら、い
つせいに工事に着手できる
わけではないので、区間を
分けての工事となる。
一区間の工事に要する日
数は、おおむね二週間程度
となるため、その間の利用
者の居室の確保が最優先と
なる。また、それに伴い
必需品の準備、食事、行事
職員の勤務体制等も考慮し
つつ、進めていかなければ
ならない。
利用者の方には極力負担に
ならないよう、また、工事
中における事故も防ぐよう
にしなければならぬ。リ
フレッシュ工事完成予定は
晩夏か初秋の候になりそう
である。季節の変わり目と
時を同じくカラーを変える
静和寮、人も建物も変わっ
ていく様をこれからも見続
けていただきたいと思っ
ております。

福祉何でも トピックスも 福祉何でも トピックス

介護保険丸の船頭は市民だ!

いよいよ介護保険制度がスタートした。だが、多くの課題を抱えての第一歩だ。ここまでに至る制度の構築は大変であったであろうことは、これまでの流れからして想像に難くない。しかし、問題はこれからだ。
以前「新制度完全主義は無理なのは…」と、いわゆる「走りながら考える」をテーマにしたことがある。今回は「介護保険とは」を紙面内で整理してみたい。

① 過酷化してきた家族介護、この家族の負担の軽減。これは、介護を社会保険制度に取り込むことであった。
② そうすることによって、目的財源を確保し、医療福祉の連携とバランスを確立しようとしたものである。
③ お役所から与えられる、お世話になる仕組みから、市民の権利として利用できる制度としたことである。
④ そこに生まれた市場に民間企業の参入を即ち、規制緩和による自由競争社会を創り出し、コストダウンとサービスの質・量の向上を計ったものである。
しかし、制度がスタートした今日、いまだにサービス、なかでも介護サービス計画(ケアプラン)は、介護認定を受けておけば向こうからやってくる。市町村が決めてくれるとの誤解があるようだ。これは、行政側の説明システムが十分に機能していなかったことにもあるが、以前書いたように、介護保険のサービスは「利用者」と「サービス提供者」との「契約」とは、サービスに対して対価を支払わなければならない、事は前に進まない「仕組み」である。そうしないと「自らで事業者を選択する必要」が生まれる。
そのためには、利用者が求めている情報の提供システムが重要となる。厚生省は「介護サービス相談ボランティア事業」を定着化しようとしている。また、いまだ十分に浸透してないが「成年後見制度」がある。これは「禁治産、準禁治産制度」を改め、痴呆性高齢者、知的障害者等生活判断能力不十分の人を法的に保護しようとするもので、ケースに応じて適切な保護者(成年後見人、保佐人、補助人)を決めてお世話をするものである。また、社会福祉協議会による日常生活の支援員制度も設けられてくる。また、NPOも組織化されつつある。相談と協力組織も整ってくる。



作業に追われるケアマネジャー

端的に言えば、家族介護の枠から社会介護の世界へ一歩も二歩も踏み出し、情報を収集し、また利用者側から「制度に対して具体的な提言」を「市町村等関係者へ」自らの声で訴えることである。
「自分が生活している自治体と市民が相談しあって、介護保険制度を成長させる」ことが「利用者が生活する地域の介護をより優れたものにする」ことになる。「期待しています」
今回のシリーズものは、「暫時擱筆」とさせていただきます。(大橋)

在宅福祉

感謝

著 藤木勤三郎
昭和六二年六八
歳の時、脳梗塞で
倒れ、救急車で寺
岡病院に運ばれた
が、その時の状況
や病院での検査な
ど断片的に知って
いますが、ほとん
ど解らず意識不明
のまま、何日過ぎ
たか知りません。
気が付いた時は
ベッドの上。妻が
つきつかりの看護
でした。夜となく
昼となく起こすの
ですが「シッコ」

在宅で介護されている方
に「介護をする上で一番大
変だと思う事は何ですか」
と質問したところ、「ベッ
ドから車椅子、ベッドから
ポータブル（又はその逆）」
と答えられた方がたくさん
おられました。
全部介助する事は介護者
の負担が大きいくだけでなく、
お年寄りの身体機能は低下
していきます。「できる事
は自分でしてもらう」とい
う事が介護者の負担の軽減、
お年寄りの自立につながり
ます。

情物厚

「物薄情厚」
勤三郎さん書
前、書道ま
病気になるされま
した。現在も「リハ
ビリにもなる」
けておられます。

も一言でもすぐに跳び起き
上がり、世話をしてくれて
いました。
何日の日か、意識もはっ
きりした頃、跳び起きる妻
を見て「ああ、病気をし
ているのは自分だけではない
んだなあ。」と思われ「あり
がとう、すまない」という
気持ちになりました。そし

て、家の者にも病院の方々
にも心から感謝の気持ちで
一杯になりました。
あれからもう一四年たちま
す。元気だった妻も足腰が
痛くなり、入浴させてくれ
る事も危なくなり困ってい
ましたが、元民生委員の方
が静和寮の入浴サービスを
お世話して下さいました。

Q ポータブルへ移動する
時工夫している事がありま
すか？
A ベッドにバーを取り付
けそれを持ってもらい、立
つています。
A 両足にマヒがあるため、
足がからまってしまい傷が
つくので、足にタオルを巻
いて介助しています。
A 腰にひもを巻き、立つ
時それを持って介助してい
ます。
今回ご紹介します、介護
用品は、移動用バーです。

移動用バー
ベッドに取り付け、使用
します。ベッドから車椅子、
ベッドからポータブルなど
の移乗に役に立ちます。
繰り返し行う事は本人の
リハビリにもなります。



ザ・仕事師

(その6、酉年・戌年・亥年生まれ)

調理員 富高和子

- ふたご座
- パスタ
- 都 はるみ

寮母 昇高正枝

- かに座
- にぎり寿司
- 五木ひろし・豊川悦司

寮母 橘高直香

- うお座
- お好み焼
- 渡 哲也

栄養士 藤木京子

- うお座
- とうもろこし
- 美木良介

調理員 浅野直美

- みずがめ座
- キムチ
- ウーピー
ゴールドバーグ

看護婦 石原ひとみ

- てんびん座
- 刺身・鉄火丼
- 福山雅治・常盤貴子

寮母 内海博子

- うお座
- 煮豆(特に実家母の手作りは美味しい)
- 古田敦也

注意

- 星座
- 好きな食べ物
- 好きな有名人

戌年

酉年

亥年

★静和寮26人しか聞けませんでした★

行ってみたいところ

- シャンハイ 1人
- 北海道 1人
- 九州 1人
- 病院 1人
- 美容院 1人
- 特にない 16人
- どこでもいいから連れてって 5人

好きな人

- 美空ひばり 1人
- 二葉百合子 1人
- 高橋秀樹 1人
- 大川橋三 2人
- 水戸黄門 2人
- 橋 幸夫 3人
- お父ちゃん 1人
- 高橋さん 1人
- 寮のみんな 2人
- なし 12人

性別	男 8人 女 18人	年代	60代 1人 70代 8人 80代 13人 90代 4人
----	---------------	----	---------------------------------------

100万円もらったらどうする?

- 旅行 3人
- 寄付 7人
- 車を買う 1人
- 子、孫にやる 2人
- 貯金 7人
- 買物 2人
- 女房をもらう 2人
- わからない 2人

静和寮に希望すること

- 部屋を広くして、夫婦で入りたい 1人
- 自由であればよい 1人
- わからない 5人
- なし 19人

好きなテレビ番組

- 時代劇 9人
- 相撲 2人
- NHKドラマ 2人
- ワイドショー 1人
- 野球 1人
- クイズ番組 1人
- のど自慢 1人
- 教育テレビ 1人
- なし 8人

健康、長生きの秘訣

- 早寝、早起き 4人
- 運動、歩く 2人
- 歌をうたう 1人
- 食事を正しく 2人
- 仏様を拝む 1人
- 神様を拝む 1人
- のんきに暮らす 5人
- のど飴と牛乳 1人
- なし 9人

人生で辛かったこと

- 戦争 3人
- 原爆 1人
- 百姓で働いたこと 1人
- 腰が痛い 1人
- 親が亡くなったこと 2人
- 主人が病気になったとき 2人
- 歩けなくなったこと 1人
- 子供が亡くなったこと 1人
- 病気になったとき 4人
- なし 10人

静和寮での好きなメニュー

- おはぎ 11人
- いなりずし 4人
- 南京の煮物 1人
- なんでもおいしい 7人
- カレー 1人
- 散らし寿司 1人
- 巻寿司 1人

以上、50人中26人しか聞けませんでした!のコーナーでした。

賛否寮論

これぞまさしく 賛否両論



うまいんだな～これが!

最近、とは言わないが、死亡原因の一つに悪性新生物という名をよく耳にする。俗に言う「ガン」であるが、そのガンにも発生する部位が色々である。咽喉ガン、食道ガン、胃ガン、大腸ガン、肺ガンと体のどこに発生しても、危険を及ぼすやつかいなものである。しかし、以前までは治療するのが難しいと言われていたが、ここ数年医療の進歩により、治療可能な域まで達した。が、依然治療できないものもあると聞く。昨今、健康食品やなにやらで、ガンになりにくい食材や、薬等たくさん売られているが、読者はそういったものを試しているのだろうか。その結果は、いつ頃現れるのだろうか。ガンにならなければ、それが正しかったということになるのであるだろうか。...

少し前置きが長くなったが、ここで肺ガンについて考えてみたい。肺ガンとはいったいなんなのであろうかという医学的な話はさておき、肺ガンが発生する原因の第一位といわれているのが「タバコ」である。小生もタバコを吸っているが、非常に片身が狭い思いをして一人である。近ごろの公共施設等では、必ず禁煙であり、中には終日禁煙の場所もある。会社や家の中で禁煙とされている今日この頃。喫煙者にとればなげかわしいかぎりである。が、確かに体にはよくないように思うのも、事実である。回りにその害をもたらしていることもわかっているが、それでも止められないから困っている。静和寮ではどうだろうか。当然のことながら、喫煙者がおられる。日に相当な数を吸われる方もおられる。半世紀をタバコと共に過ごされた方もおられる。ここ

で言いたいのは、その方たちに「タバコをやめたら」である。この一言は結構きつい一言である。逆を言えば何の権利があって、そんなことを言うのかということである。正論から言えば、禁煙することは、自分にとっても他人にとっても害を及ぼさなくなるということだろう。しかし、果たしてそう思っている人が実際、何人いるのかということである。中には当然そう思う人もいるが...。ここでの視点は、健康とということより、単に「煙たい、臭い」という理由での「タバコをやめたら」ではないだろうか。そうではないという意見が聞こえてきそう。喫煙所で吸っている方に対して、マナーを遵守している方に対して、そんな言い方はない。まして、タバコを愛してこられた方に...。読者はどう思われるだろうか。

福山にサーカスがやってきた!

著 馬屋原 寿江

先日、「木下サーカス」を観に連れて行ってもらいました。昼食を食べてすぐに車に乗って入りました。会場に着いてテントの中へ入りましたが、薄暗くて歩きにくいし、客席に座るのも大変でしたが、係員の方が親切に案内して下さいました。



きれいな光りとともに、吊るされたロープに昇りぶらさがってクルクル回ったりする曲芸で始まり、キリン、ゾウ、ライオン、チンパンジーのかわいい曲芸、空中ブランコ、オートバイなど、目を見張るものばかりで、一生懸命に拍手しました。そして、ふと子供の頃のことを思い出しました。

頃のことを思い出しました。私の実家の近くに吉備津一宮という神社があって、そこにサーカスがあって、そこにゾウやキリンもいたり、空中ブランコもありました。他には大きな男の人の腹の上に、俵をのせてその上に白をのせて餅つきをするというのもありました。かなり広範囲の地域から多くの人達が観にきていました。今のように車はないので、何時間も歩いてです。料金も何十銭の時代です。久しぶりに感動する事ができ、幸せな気分です。

私たち充実してます ボランティアグループ ひまわり

先日静和寮に來られ、掃除、シート交換、お年寄りのコミュニケーションなどのお話を聞いてみました。

◆今は私自身が高齢社会に仲間入りしているし、福祉は避けて通れない。六八歳何ができるのかと考えたとき、この活動を知り、参加しました。お年寄りとして接して笑顔で応じて下さる人、反応のない人などおられ、自分はどういう姿になるのかと思うが、どうなっても悔いのないようにしたい。少しの間でしたが、共に歌を唄ったり、口ずさんだりし、満足そうな姿、生き生きとされている姿を嬉しく思いました。(藤野)

◆お年寄りの方が、掃除の仕方や「そこはせんでええよ」と教えて下さったり、よく声をかけて下さり嬉しかった。顔見知りになると私の方からも声をかけやすくなり、タイミングもわかってきました。(平井)

◆十年位前より、色々なボランティアに参加しています。今日は、レクリエーションで歌を一緒に唄い、楽しかった。老人とのふれあい、グループの友達とのふれあいが楽しいし、また自分の健康のためにも良いように思います。(森下)

◆仕事を辞め、何をしようかと思ったとき、前向きに考えたら三歳で車の免許を取り、少子高齢化社会でお役に立ちたいと思って、参加しました。部屋を掃除して回り、お年寄りの人が、安らかな顔で休んでいらつしやる姿、これが人の道なの

ほのぼの日記 “ものには限度が”



だと感じました。(松岡)

◆最近はこの施設もきれいに掃除できている。普段手の届きにくいベッドの下とか、物陰のほうに気を付けて掃除するようにしました。(持井)

◆デイサービスや入浴サービスを両親が利用していた



ひまわり会の皆さん、どうもありがとうございました。これからも、どうぞよろしくお願いたします。

のでグループに参加しました。声をかけることは、お互い元気の素になるような気がします。いつもは家にいるので、いろんな人に会えるのが嬉しく、また、この会に参加し外に出ることが気分転換になり楽しいです。(橘高)

最近私の車の調子が悪い。昨今の今頃もそうだったが、今年もなつてしまった。車がブルブルと音を出し、動かなくなるのだ!それも道の真ん中で!。冷静に判断できない私は、後ろの人に助けを求めればよいものの、それもできない。情けない...。きつと私みたいな人が渋滞を引き起こしているのだらうと思う。でも不思議なのは、他の人がこの車に乗ってもおかしくならない。あの怖さを知っているのは私だけ。もしかしたら、車が悪いのではなく、私の運転が悪いのかも知れない。

編集後記

ヘルシーおやつ ☆ポテト餅☆



(1人前)
エネルギー 97kcal

材料

じゃがいも	60g
片栗粉	大きじ1
マーガリン	小さじ1/2
しょうゆ	適宜
砂糖	
焼き海苔	

- 作り方**
- ① じゃがいもは皮をむき、4~6等分くらいに切って軟らかくゆでる。ゆで汁は別の容器に少し取っておく。
 - ② 熱いうちにじゃがいもをつぶし、片栗粉を加えながらよく混ぜる。
 - ③ 固いようなら、取っておいたゆで汁を加え、固さを調節する。(見た目も手触りも普通のつきたて餅のような状態にする)
 - ④ 手に片栗粉をつけ、平餅のように形づくる。(作ったものを入れておく器にも、片栗粉を広げておく)
 - ⑤ フライパンにマーガリンを溶かし、④の両面を弱火で焼く。
 - ⑥ きつね色のおいしいそうな色がついたら、熱いうちに砂糖しょうゆをつけて、海苔で巻いてできあがり。(あべかわ餅の要領です)